

製品安全データシート

ダイヤストレッチフィルム

司化成工業株式会社

改訂履歴

年	月	日	変更内容
2003	10	1	JIS Z 7250 2000 準拠に変更
2009	2	26	確認
2009	11	25	化管法施行令改正による見直し確認
2010	2	18	連絡先を茨城工場に変更
2010	12	20	JIS Z7250 2010 準拠に改訂
2013	4	6	JIS Z7253 2012 準拠に改訂 JIS Z7250 2010 は廃止

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名 : ダイヤストレッチフィルム
会社名 : 司化成工業株式会社
住所 : 〒110-0006 東京都台東区秋葉原 1-1 秋葉原ビジネスセンター 3階
担当部門 : 品質保証部
電話番号 : 03-3258-0761 FAX : 03-3258-0766
緊急連絡先 : 品質保証部 (茨城工場内) TEL 0297-58-1821
FAX 0297-58-1823
整理番号 : TK-211

2. 危険、有害性の要約

最重要危険有害性

有害性 : 生理学的に不活性であり、人体への特別な毒性作用はない。
環境影響 : 特別な問題はない。
危険性 : 常温の取り扱いでは特に危険性はない。

GHS 分類

火薬類 : 分類対象外
可燃性/引火性ガス : 分類対象外
可燃性/引火性エアゾール : 分類対象外
支燃性/酸化性ガス : 分類対象外
高压ガス : 分類対象外
引火性液体 : 分類対象外
可燃性固体 : 分類できない
自己反応性化学品 : 区分外
自然発火性液体 : 分類対象外
自然発火性固体 : 区分外
自己発熱性化学品 : 区分外
水反応可燃性化学品 : 区分外
酸化性液体 : 分類対象外
酸化性固体 : 区分外
有機過酸化物 : 区分外
金属腐食性物質 : 区分外
急性毒性 : 区分外
皮膚腐食性/刺激性 : 区分外

眼に対する重篤な損傷性/刺激性	: 区分外
呼吸器感作性	: 区分外
皮膚感作性	: 区分外
生殖細胞変異原性	: 区分外
発がん性	: 区分外
生殖毒性	: 区分外
特定標的臓器/全身毒性 (単回暴露)	: 区分外
特定標的臓器/全身毒性 (反復暴露)	: 区分外
吸引性呼吸器有害性	: 区分外
水生環境有害性 (急性)	: 区分外
水生環境有害性 (慢性)	: 区分外
ラベル要素	: 無し

特定の危険有害性

分解性 : 特に危険性はないが、高温加熱状態や発火点以上の状態では
燃焼する恐れがある。この場合、燃焼と分解が起こり、項目
10に示した有害性ガスが発生する恐れがある。

分類の名称 : 分類基準に該当しない。

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区分	単一製品
化学名	ポリエチレン
一般名	ポリエチレン樹脂
成分及び含有量	エチレン、オクテン共重合体 100%
化学式	(C ₂ H ₄) _m 、(C ₈ H ₁₆) _n
CAS. NO.	26221-73-8
官報公示整理番号	化審法番号 ; (6) - 1619 安衛法番号 ; (9) - 350

特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律(化管法)
第一種・第二種指定化学物質 非該当。

危険有害成分、不純物 無い

4. 応急処置

吸入した場合 : 万一高温状態の蒸気や煙霧を吸い込んだ場合は、速やかに被害
者を安全な場所に移し、迅速に医師の診断を受ける。

皮膚に付着した場合 : 特に必要ない。但し、高温状態の製品が付着した場合 (火傷)

は、速やかにその箇所を大量の冷水に浸して皮膚を冷やし、清潔な綿やガーゼで覆い医師の手当てを受ける。安易に皮膚に付着した熔融樹脂を取り除くと、皮膚を引裂き易いので注意する。

- 目に入った場合 : 製品は通常では固体であり、目に入った場合は異物として取り除き、水で十分洗眼後、医師の診断を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに吐き出させる。

5. 火災時の措置

- 消火剤 : 水、ドライケミカル、泡消火剤、二酸化炭素
- 消火方法 : 消火活動時は保護具着用の上、適切な消火剤を使用して消火する。
- 特定危険有害性 : 酸素の不十分な状態では、一酸化炭素（CO）が煙霧と一緒に発生する恐れがある。
- 消火を行う者の保護 : 呼吸用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置 : 掃き集める等の掃除を行い、リサイクル用の容器や廃棄物用容器等へ回収する。

7. 取り扱い及び保管上の注意

- 取扱注意事項 : 水分、湿気、強酸化剤との接触厳禁。
- : 水濡れ厳禁、直射日光を避ける。
- : ダンボールを傷める様な乱暴な扱い（落下させたり衝撃を加えたり、引きずるなど）をしない。
- : このフィルムは重量物であるので、運搬時に腰を痛めたり落下により怪我をする恐れがあるので荷扱いに気をつける。
- 保管時の注意事項 : 横積厳禁、倒れるような積み方をしない。
- : 水濡れ、湿気、直射日光は厳禁、常温室内保管、火源との接触厳禁。
- : ラッピング時フィルムが切れる恐れがあるので、フィルムの両端に傷を付けない。
- : ダンボール箱に入れて保管する。
- : 長期間の保管により、荷崩れ、あるいはフィルムの過剰粘着により、フィルム剥離不良を引き起こす場合があるので過大な積み重ねや長期間の保管は避ける。

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策	: 特に必要ない。
許容濃度	: 特に設定はされていない。
保護措置	: 製品の使用时、特別な警戒（保護措置）の必要はない。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状	: フィルム
色	: 透明
臭い	: 無臭
PH	: 中性

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

融点	: 120℃
分解温度	: 300℃以上
引火点	: 350～400℃
発火点	: 400℃以上
爆発特性（大気中）	: 無
密度	: 0.9～0.92 g/cm ³
溶解性	: 無
吸湿性物質の有無	: 無

10. 安全性及び反応性

安定性	: 常温での使用状態では安定である。
反応性	: 常温での使用状態では反応性は無い。
避けるべき条件	: 120℃で熔融し使用出来なくなる。
避けるべき材料	: 常温では特になし。
危険有害な分解生成物	: 燃焼時、二酸化炭素（CO ₂ ）、一酸化炭素（CO）、及び可燃性炭化水素を発生する。

11. 有害性情報

皮膚腐食性、刺激性、感作性、変異原性、生殖毒性、催奇形性	: 特に問題ないと考えられる。
急性毒性、慢性毒性	: 特に問題ないと考えられる。
長期毒性	: 特に問題ないと考えられる。
生殖毒性	: 特に問題ないと考えられる。
発癌性	: IARCの発がん性区分でグループ3.

(人に対する発がん性については分類出来ない。)

1 2. 環境影響情報

移動性 : 特に知見なし。(特別な問題は無いと考えられる。)
残留性、分解性 : 特に知見なし。(特別な問題は無いと考えられる。)
生体蓄積性、魚毒性 : 特に知見なし。(特別な問題は無いと考えられる。)

1 3. 廃棄上の注意 : 「廃棄物処理及び清掃に関する法律」に従って焼却又は廃棄する。地方自治体の規制がある場合は、それに従う事。

1 4. 輸送上の注意 : 水濡れ厳禁及び、荷崩れ防止措置を行う。ダンボールを傷める様な乱暴な扱い(落下させたり衝撃を加えたり、引きずるなど)をしない。

1 5. 摘要法令

保管 : 消防法 「指定可燃物」 (合成樹脂類、その他のもの)

廃棄 : 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 (廃棄法)

その他、用途により摘要法令あり。(例: 食品衛生法)

組成中の「化学物質管理促進法」、「安衛法」等。

「化学物質管理促進法」: 特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律/第2条 第3項、別表第1 (第1種)、及び第2条 第3項、別表第2 (第2種)の該当する号及び名称。

「安衛法」 : 労働安全衛生法/第57条の2 第1項、別表第9 (名称等を通知すべき有害物)の該当する号及び名称。

1 6. その他の情報

引用文献等

化学工業日報社 労働安全衛生法MSDS対象物質全データ

化学工業日報社 化学物質管理促進法対象物質全データ

お願い : 本「製品安全データシート」は当社の製品を安全に使用して頂く為に、注意しなければいけない事項を簡潔にまとめたものです。

記載内容の内、含有量、構成比率、物理化学的性質などの値は、情報提供であり保証値ではありません。

ここに記載された内容は発行日現在までに弊社が入手し得た情報によるもの

であり、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。

また、内容は法令の改正及び新しい知見に基づき改訂される事があります。
注意事項は通常取り扱いを対象としたものです。全ての取り扱いにおける安全の確保は使用者の責任において行って下さい。

記載内容の問合せ先

品質保証部 (茨城工場内)

TEL : 0297-58-1821

FAX : 0297-58-1823

以上